

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	法人全体の非難訓練の際、グループホームが火元と想定しての訓練はまだ行われていない。	来年度は、グループホームが火元になった場合を想定し、各協力機関との連携についての再確認を行っていききたい。	法人で構成している、防災委員会において来年度の事業計画に盛り込む。グループホームの会議等で再度、火元になった場合の非難方法等を確認する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の開催が少ない。	開催の回数を増やしていく。	参加メンバーを再検討し、より多くの方々に参加していただき、様々な情報が得られるようにする。	12ヶ月
3	14	同業者との交換実習はまだ、行われていない。	同業者との交換実習を行う。	置賜地区のブロック会に参加した際や、各研修先で情報交換を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。